

北海道リハビリテーション学会雑誌投稿規程

一般事項

- (1) 本誌は原則として年1回発行する。
- (2) 投稿者は本学会会員であることを原則とし、論文の採否は編集委員会で決定する。
- (3) 投稿論文は未発表であることを要し、掲載後は本学会の承諾なしに他誌に転載を認めない。
- (4) 修正を要するものは編集会議の意見をつけて書き直しを求める。
- (5) 投稿料は原則として無料とする。
- (6) 採用された論文はメディカルオンラインに掲載しインターネット上に公開されるため、投稿をもって、インターネット上に個人名、所属が公表されることを了承したものとする。また、掲載論文の著作権は当学会に帰属するものとする。
- (7) 学術集会の一般演題応募の際には、当学会誌への抄録・発表内容の掲載を了承したものとする。

執筆規定と投稿方法

- (1) 原則として和文とする。
- (2) 論文は表題ページ、和文要旨（400字程度）、本文、文献、図、表および図表説明文より構成するものとし、本文（含文献）にはページ番号および行番号を表記することとする。日本語の学術用語は“日本リハビリテーション医学会編 リハビリテーション医学・医療用語集”に準拠し、英語は“Index Medicus”に準拠するものとする。
- (3) 表題ページには投稿区分、表題、著者・共同著者名、所属およびキーワード（3個以内）、連絡先の氏名（原則著者）、郵便番号・住所、電話番号、メールアドレスを記すこととする。また図・表の枚数を朱書することとする。
- (4) 規定の文字数内で論文の要旨を記載するものとする。
- (5) 投稿区分ごとの本文（含文献）の原稿文字数、図（含写真）・表点数は下記の表に従うものとする。

投稿区分	表題ページ (キーワード、著者名、 所属、連絡先等を含む)	要旨 (400字程度)	本文(含文献)、図・表 (字数は全角換算) (図・表は1点400字換算)
研究と報告	1ページ	1ページ	6,000字以下
短報	1ページ	1ページ	3,200字以下
症例報告	1ページ	1ページ	4,800字以下
総説	1ページ	1ページ	規定無し

- (6) 論文は横書きでMicrosoft Wordを用いて和文および日本語は全角文字を使用し、英単語は大文字も小文字も半角文字を使用することとする。1ページは「1行全角40字×18行」程度とすること。原稿はひらがな・現代仮名遣い・常用漢字を用いて記載し、数字は算用数字を用い、度量衡の単位はCGS法(MKS法)に従うこととする。

- (7) 図・表は Microsoft Word ファイルで改ページをして、1 ページに 1 点ずつ記載するものとする。やむを得ない場合は別ファイルとすることもできるが、Word ファイル中に図・表のページを設けて、そのファイル名を明記すること。図には原則として説明文をつけるものとする。図・表には一連の番号を付記すること。本文中に図・表の挿入箇所を朱書することとする。
- (8) 文献は重要なものにとどめ、本文での引用順に記載し、引用箇所には上付け文字で番号を記載すること。文献の省略名は原則として Index Medicus に従うこととする。雑誌は、文献番号) 著者名：表題、誌名 巻(号)：引用ページ；西暦発行年 の順に記載することとする。単行本は、文献番号) 著者名：表題、書名 (編者名)、第○版、発行所、pp ページ；西暦発行年 の順に記載すること、proceeding(s)ないし抄録引用の場合には末尾に (proc.)ないし (抄) と記載することとする。
- (9) 著者校正は原則として 1 回行うこととする。
- (10) 投稿にあたっては、表題ページのみを添付して、編集委員会宛に電子メールで申し込むこととする。

投稿の申込先：

北海道リハビリテーション学会 編集委員会

メールアドレス：doreha@kyouseikai.jp

その後、編集委員会からファイルのアップロード先について連絡が来る (土・日・祝日を除いて 5 日間以内) ので、期限 (概ね 1 週間) までに指定されたサイトにファイルをアップロードすることとする。なお、編集委員会からのメール (URL リンクを含む doreha@kyouseikai.jp からのメール) を受信できるようにしておくこと。委員会からの連絡の不備等問題が生じた場合の相談も上記アドレスで受け付ける。

(文献記載例)

- 1) 岡本五十雄：障害受容 (克服) - 脳卒中患者のこころのうち - , Jpn J Rehabil Med 50(12): 951-956; 2013
- 2) Leknes S, et al: Pain relief as an opponent process. A psychophysical investigation, Eur J Neurosci 28: 794-801; 2008
- 3) 三上真弘編：下肢切断者リハビリテーション, 第 3 版, 医歯薬出版, 東京, 94-272; 1987
- 4) 浅山 滉：腰部脊柱管狭窄症. 臨床リハ別冊 実践リハ処方 (米本恭三他編), 医歯薬出版, 東京, 188-192; 1996
- 5) Loeser JD: Concept of pain. Chronic LowBack Pain (ed by Stanton HM, et al), Raven Press, New York, 146-152; 1982
- 6) 厚生労働省老健局介護保険計画課：介護保険事業状況報告 (2021年9月分),
URL: <http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/jigyo/m11/1109.html> (2021年10月15日引用)

(2023年9月4日改訂)